


再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道防災課
担当課長名：下保 修

事業名 一般国道30号 <small>こじま たまの</small> 児島・玉野拡幅	事業区分 一般国道 (2次改築)	事業主体 中国地方整備局																							
起終点 自：岡山県岡山市当新田 至：岡山県玉野市田井	延長 15.0km																								
事業概要 一般国道30号は、岡山県岡山市から玉野市を経由し瀬戸内海を渡り香川県高松市に至る延長約26.4km（陸上部）の主要な幹線道路である。 児島・玉野拡幅は、一般国道30号の交通混雑の緩和および交通安全の確保を目的として計画された、岡山市当新田～玉野市田井に至る延長15.0kmの4車線の現道拡幅事業である。																									
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">S45年度事業化</td> <td style="width: 25%;">S50年度都市計画決定</td> <td style="width: 25%;">S45年度用地着手</td> <td style="width: 25%;">S46年度工事着手</td> </tr> <tr> <td>全体事業費</td> <td>357億円</td> <td>事業進捗率</td> <td>93%</td> </tr> <tr> <td>計画交通量</td> <td colspan="3">21,500～52,000 台/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">費用対効果 分析結果</td> <td>B/C (事業全体) 2.0</td> <td>総費用 (残事業)/(事業全体) 17億円/677億円</td> <td>総便益 (残事業)/(事業全体) 33億円/1,357億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 1.9</td> <td>事業費：14/592億円 維持管理費：3.3/86億円</td> <td>走行時間短縮便益：29/1,311億円 走行経費減少便益：3.0/15億円 交通事故減少便益：0.20/31億円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">基準年 平成19年</td> </tr> </table>			S45年度事業化	S50年度都市計画決定	S45年度用地着手	S46年度工事着手	全体事業費	357億円	事業進捗率	93%	計画交通量	21,500～52,000 台/日			費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 17億円/677億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 33億円/1,357億円	(残事業) 1.9	事業費：14/592億円 維持管理費：3.3/86億円	走行時間短縮便益：29/1,311億円 走行経費減少便益：3.0/15億円 交通事故減少便益：0.20/31億円			基準年 平成19年	
S45年度事業化	S50年度都市計画決定	S45年度用地着手	S46年度工事着手																						
全体事業費	357億円	事業進捗率	93%																						
計画交通量	21,500～52,000 台/日																								
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 17億円/677億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 33億円/1,357億円																						
	(残事業) 1.9	事業費：14/592億円 維持管理費：3.3/86億円	走行時間短縮便益：29/1,311億円 走行経費減少便益：3.0/15億円 交通事故減少便益：0.20/31億円																						
		基準年 平成19年																							
感度分析の結果 残事業について、感度分析を実施 []：全体事業 交通量変動：B/C=2.2(交通量+10%) B/C=1.3(交通量-10%) [事業全体 B/C=2.4(交通量+10%) B/C=1.7(交通量-10%)] 事業費変動：B/C=1.7(事業費+10%) B/C=2.0(事業費-10%) [事業全体 B/C=1.8(事業費+10%) B/C=2.2(事業費-10%)]																									
事業の効果等 ・渋滞緩和（円滑なモビリティの確保）…岡山市当新田の交通渋滞の緩和が見込まれる ・重要港湾へのアクセス強化…宇野港へのアクセス改善により利便性の向上が見込まれる など18項目に該当																									
関係する地方公共団体等の意見 本道路の整備により、岡山市圏と玉野圏域との連携・アクセスが強化されるため、関係する市（岡山市、玉野市）の首長で構成される国道30号整備促進期成会（H17.8.5）等より強く要望されている。																									
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 全線4車線化されたが、岡山市当新田地区周辺は朝夕ピーク時には交通渋滞が発生し、交通事故が多発している等、円滑な経済活動や物流活動に支障をきたしている。																									
事業の進捗状況、残事業の内容等 残る岡山市当新田地区約0.7kmは、平成19年度より用地買収を進めているところである。用地買収については平成18年度末時点で84%が完了。																									
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 H17.8に4車線化区間である14.3kmを供用済み。残る岡山市当新田地区拡幅工事の約0.7kmについて、事業を推進しているところである。																									
施設の構造や工法の変更等 耐候性鋼材を使用し、維持管理コストの低減を図っている。																									
対応方針 事業継続																									
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。																									
事業概要図 																									

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。